

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4070600657
法人名	社会福祉法人ふらて福祉会
事業所名	グループホーム森の家
所在地	福岡県北九州市八幡東区山路松尾町13-25 (電話) 093-653-1711

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	H21年 9月 18日	評価確定日	H21年 10月 30日

【情報提供票より】 (平成21年8月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 10月 1日						
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人				
職員数	24 人	常勤	24人,	非常勤	0人,	常勤換算	24人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3階建ての 1 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	(有)(300,000円)	有りの場合償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,500 円		

(4) 利用者の概要 (平成21年8月21日現在)

利用者人数	26 名	男性	2 名	女性	24 名
要介護1	6 名	要介護2	5 名		
要介護3	9 名	要介護4	5 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.6 歳	最低	63 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	西野病院 白石歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体の病院・ケアハウス・グループホーム・デイサービスなど一つの共同体として機能するように建設されている。広い敷地内には、自然の地形を利用してロジック風の野外ステージやガーデニングが楽しめる花壇、事業所独自の畑等、利用者が日々の暮らしの中で季節の変化を感じながら暮らせる工夫が随所に見られる。夏祭り等、大きな行事には家族や地域の人に呼びかけ、交流が盛んに行われている。3ユニットそれぞれで特徴を活かした介護が行われ、利用者一人ひとりの意向に沿った介護を目指している。職員の研修にも熱心で、年間の計画立て同業者との交流も行う等、サービスの質の向上に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題について、改善計画シートを作成し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員の意見を聴取し、管理者が集約している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議を定期的開催し、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等を報告し、委員から意見や要望を聴取するよう努めている。委員が地域との架け橋となり、連携を図りながら地域貢献について模索する等、サービス向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	意見箱を設置している。来訪時及び家族会にて家族等の意見、不満、苦情を聴取するよう努め、運営に反映させるよう努めている。また、家族等へ事業所以外の苦情に関する第三者相談窓口を重要事項説明書に明記し、説明している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、法人全体の行事案内を地域に回覧している。地域の清掃活動や文化祭に参加し、近隣の保育園、小学校、高等学校と交流がある。学生ボランティアを受け入れる等、地域と積極的に交流することに努めている。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えているサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念に地域密着型サービスの視点が含まれ、利用者のケアに努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎日の申し送り時や月1回の職員会議で理念について話し合い、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、法人全体の行事案内を地域に回覧している。地域の清掃活動や文化祭に参加し、近隣の保育園、小学校、高等学校と交流がある。学生ボランティアを受け入れる等、地域と積極的に交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員の意見を聴取し、管理者が集約している。前回評価での改善課題について、改善計画シートを作成し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等を報告し、委員から意見や要望を聴取するよう努めている。委員が地域との架け橋となり、連携を図りながら地域貢献について模索する等、サービス向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の介護相談員派遣事業を受入れ、協働して認知症についての啓発活動を行う等、行政とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者や職員は、制度について内外研修で学ぶ機会がある。また、一部の職員が研修を受講したときは、他の職員に伝達研修をし、共有化を図っている。テキスト・研修記録がある。家族等には、利用開始時に説明を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月に1回、事業所便りを発行し、利用者の暮らしぶりや健康状態、職員の異動等を報告している。また、定期的に絵手紙や写真を、送付や手渡ししている。金銭管理については、月1回、家族に領収書を渡し、金銭出納帳を明示して確認の押印をもらっている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。来訪時及び家族会にて家族等の意見、不満、苦情を聴取するよう努め、運営に反映させるよう努めている。また、家族等へ事業所以外の苦情に関する第三者相談窓口を重要事項説明書に明記し、説明している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、職員から個別に話を聴いてコミュニケーションを図ったり、日常的にユニット間で交流する等、異動や離職を抑える努力をしている。職員が離職等した場合、引き継ぎ期間を十分に設け、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の採用にあたっては性別や年齢、資格の有無を理由に採用対象から排除しないようにしている。働きながら社会参加や自己実現ができるよう環境づくりに配慮している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権に関する内部研修を全職員で行っている。テキスト・パンフレット・研修記録・報告書がある。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員がスキルアップしていくための外部研修や育成計画を立て、職員の学ぶ機会を確保し、段階に応じた研修を受講できるように配慮している。また、外部研修受講者による伝達研修を行っている。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者ネットワークに複数加入し、管理者や職員は他事業所と積極的に交流し、総合訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に見学や体験入所、自宅訪問等を行っている。本人が安心し、納得した上でサービスを利用してなじみの関係がもてるよう、家族等と相談しながら工夫している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>料理や園芸、活け花等、利用者の得意分野で力を発揮してもらい、職員は感謝や感動を共有し、本人を介護される一方の立場におかず、支えあう関係を築いている。</p>		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日々の関わりの中で、利用者の表情や言動から一人ひとりの思いや希望の把握に努め、アセスメントに記入し、支援している。また、意思疎通が困難な場合は、家族等から情報を得るようにし、本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族や職員の意見や気づきを反映した個別具体的な介護計画を作成している。介護計画は、家族の署名、押印がある。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回、また利用者の状態変化や状況に応じて、介護計画を見直している。変化が生じた場合は、家族等必要な関係者と話し合い、各ユニットで創意工夫しながら新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した際は、利用者を見舞いながら、本人・家族・医療機関と連携を図り、早期退院へ向けて取り組んでいる。本人や家族等の状況に応じて、通院や送迎等の必要な支援は、柔軟に対応している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、今までのかかりつけ医や事業所の母体法人の病院での24時間体制の受診を支援している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方について方針がある。利用開始時や利用者の状態の変化に応じて、その都度、利用者や家族等の意向を大切にしながら話し合い、医療関係者、職員の全員で方針を共有している。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	内部研修等で職員の意識向上を図り、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることがないように、言葉かけや対応に配慮している。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、利用者一人ひとりの体調等に配慮しながら、その日そのときの気持ちやペースを大切に支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は、一緒に準備や食事、片付けをしている。食事は同じテーブルで、利用者と同じ物を楽しんで食べている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>大まかな入浴時間の設定はあるが、利用者の希望等にあわせて、柔軟に対応して入浴を楽しめるよう支援している。入浴拒否の人については、その原因を探る等し、臨機応変に一人ひとりのタイミングや意向、希望に応じた入浴ができるように支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>職員は利用者の個性や特技を把握し、また、利用者の生活歴や趣味等を活かして、役割や楽しみごとを支援している。</p>		
28	63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の状況や希望また天候等に配慮して、散歩や買い物、ドライブ、外食、美術館や博物館、温泉等、戸外に出かけられる機会を多くし、支援している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>居室や玄関は施錠していない。全職員は鍵をかけることの弊害を理解している。職員は利用者の外出傾向等を把握し、チャイムに頼らず、見守りや付き添いを行っている。家族同意の上、GPS機能付携帯を所持し、また警察と連携を図る等、安全確保に努めている。</p>		
30	73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルを作成している。年2回、消防署の協力を得て母体法人与合同で避難訓練を実施している。また、地域住民に呼びかけ、参加協力がある。非常用食料、飲料水、備品を準備している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量及び水分摂取量の記録が全利用者分ある。献立は利用者の嗜好を考慮し、職員が作成している。また、医師や栄養士に、栄養バランスやカロリー等の専門的なアドバイスやチェックを受けている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者作成の作品や庭の草花を飾り、ベランダのプランターでミニ家庭菜園をする等、生活感や季節感を採り入れている。利用者にとって不快と感じる音や光はなく、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の馴染みの家具、家族写真や飾り物等を持ち込んでいる。その人らしい個性を尊重し、居心地のよい空間となっている。</p>		

※ は、重点項目。